

各位

上場会社名	株式会社 コモンウェルス・エンターテインメント
代表者	代表取締役社長 塚田 英智
(コード番号	7612)
問合せ先責任者	取締役副社長 柳田 隆仁
(TEL	03-3568-5020)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成23年10月28日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

### ● 業績予想の修正について

平成24年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,900	10	10	10	0.26
今回修正予想(B)	1,748	△267	△261	△267	△6.99
増減額(B-A)	△151	△277	△271	△277	
増減率(%)	△8.0	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成23年3月期)	2,538	△217	△212	△170	△4.45

修正の理由

(通期業績予想)

(1)売上高

コンテンツ事業につきましては、著作権仲介ビジネスの一環である映像コンテンツの企画及び制作等の周辺事業において、納品検収の遅れにより売上計上が翌期にずれ込みました。また、予定していたコミッションフィーに対して取引先からの契約見直等があり交渉を重ねてまいりましたが、当初見込んでいた売上上の獲得が困難な状況となりました。これらの要因により、当初予想値600百万円から△25.6%減の446百万円となる見込みです。アミューズメント事業につきましては、アミューズメント施設用メダルゲーム機への転用事業において、パチンコメーカーから発売された複数のビックタイトルが市場から想定以上に好評を得ており、当初予想値1,100百万円から17.3%増の1,289百万円へと増収になる見込みです。コンサルティング事業につきましては、遊休不動産等活用コンサルティング事業において、当社独自のコネクションを活かした活用方法・運用方法等のコンサルティングを行ってまいりましたが、クライアントと最終合意に至らず当初予想値200百万円から△93.7%減の12百万円と大幅な減収になる見込みです。

以上により、当社全体の売上高といたしましては、当初予想値1,900百万円から△8.0%減の1,748百万円となる見込みです。

(2)営業利益、経常利益及び当期純利益

営業利益につきましては、コンテンツ事業において、販売費及び一般管理費に一定の削減効果が見られたものの、売上高の減少により利益も減少し当初予想値110百万円より△82.7%減の19百万円となる見込みです。アミューズメント事業につきましては、増収となりましたが利益率の低い事業であったことから、売上高の増加に比べて利益に与える影響は大きくありませんでした。それに加えて、一部商品についての評価減をおこなったことによる売上原価の増加、またアミューズメント施設用機器開発のための製作外注費、営業力強化のための委託報酬など販売費及び一般管理費の増加に伴い、当初予想値10百万円より△179.3%減の△7百万円となる見込みです。コンサルティング事業につきましては、売上高の減少理由と同様に利益率の高い遊休不動産等活用コンサルティング事業において、案件成立に至らなかったことにより、当初予想値90百万円より△199.2%減の△89百万円となる見込みです。また総務部門等管理部門に係る間接経費につきましては、経費削減の効果もあり当初予想200百万円から△5.5%減の188百万円となる見込みです。その結果、当社全体の営業利益といたしましては、当初予想値10百万円の営業利益から267百万円の営業損失となる見込みです。経常利益につきましては、貸倒引当金戻入額や賃貸料収入等があり、当初予想値10百万円の経常利益から261百万円の経常損失となる見込みです。当期純利益につきましては、特別損失として人員削減による特別退職金3百万円、アミューズメント事業におけるレンタル機器の一部について回収可能性に鑑みた結果2百万円の減損損失の計上等により、当初予想値10百万円の当期純利益より267百万円の当期純損失になる見込みです。

以上により、当社全体の平成24年3月期通期業績予想といたしましては、売上高1,748百万円、営業損失267百万円、経常損失261百万円、当期純損失267百万円へそれぞれ下方修正いたします。

※上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、状況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上